



ハイソリッド型
エポキシ



二液



無鉛



F☆☆☆☆
ホルムアルデヒド
放散等級

ATOM^{IX}

フロアトップ® エポワン®

コンクリート床用

一回塗り仕上げ

プライマー不要

エポワンは、従来の一液アクリル系既存塗膜の上に、プライマーなしで二液エポキシ塗料を塗りたいという、多くのユーザーの声を製品設計に生かした、使いやすい塗り替え専用の床塗料です。ほとんどの既存塗膜にプライマーを必要とせず、手軽に塗れる高性能エポキシ塗料です。

塗り替えに
最適!

特長

1. 塗り替えに最適

広範囲の既存塗膜にサンディング(目粗し)のみで塗装ができます。(一部付着しない場合があります)

2. 一回塗り・高光沢仕上げ

ローラー塗装で、膜厚の付く設計のため、一回塗りで美しい高光沢な仕上がりになります。

3. 耐久性に優れる

二液硬化型エポキシ樹脂で耐久性に優れ、車両の通行にも耐えることができます。

4. 翌日に歩行開放できます

季節ごとの硬化剤タイプを取り揃えており、塗装後翌日に歩行開放ができます。

用途

耐久性のある床材に塗り替えをしたい各種工場や倉庫等の床

荷姿・塗り面積・標準色

【荷 姿】フロアトップ エポワン

16kgセット：主剤 13.3 kg (春秋型・夏型・冬型共通) / 石油缶
硬化剤 2.7 kg (春秋型・夏型・冬型) / 角缶
3.97kgセット：主剤 3.3 kg (春秋型・夏型・冬型共通) / 4L 丸缶
(標準色のみ 受注生産) 硬化剤 0.67 kg (春秋型・夏型・冬型) / 1L 角缶

【塗り面積】

16kg セット	コーティング工法	30~50 m ²
3.97kg セット	コーティング工法	8~13 m ²

下地の状況や仕様により塗り面積は増減します。

【標準色】 8色 (調色は16kgセットのみ承ります)

#9 サマーグリーン	#10 ディープグリーン	#11 グリーン	#15 ライムグリーン
#21 アメリカングレー	#31 スパシブブラウン	#50 アイボリー	#60 スカイブルー

※日塗色見本には無いため色見本を掲載します。

※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。

標準色の指定・選定・ご注文は必ず別冊の標準カラーサンプルをお願いします。



施工例

塗装色は#9サマーグリーンと#50アイボリー

(一社) 日本塗料工業会登録	
登録番号	A03019
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

消防法：
主 剤 / 第四類第二石油類・
危険等級Ⅲ・火気厳禁
硬化剤 / 第四類第二石油類・
危険等級Ⅲ・火気厳禁



アトムクス株式会社

施工仕様例

①コーティング工法（塗り替え仕様）

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/㎡)	塗装間隔 (時間/23℃)	コーティング工法 (ESO-I)
下地処理	—	—	—	—	—	
上塗り	フロアトップエポワン	—	—	0.30~0.50	—	

②油面コンクリート工法

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/㎡)	塗装間隔 (時間/23℃)	油面コンクリート工法
下地処理※	フロアトップ オイルオフクリーナー	—	—	0.30~0.50	24以上	
下塗り	フロアトップアクア 油面プライマー	—	—	0.15~0.20	一般型: 3.5~24	
上塗り	フロアトップエポワン	—	—	0.30~0.50	—	

※下地処理: 下地に堆積している油泥・劣化下地を除去後、フロアトップオイルオフクリーナーを床に散布し、デッキブラシやポリッシャー等で油泥の残りを洗浄してください。

洗浄液回収後、水モップで拭いて乾燥させてください。

注) 下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

可使時間（ポットライフ）

タイプ	気温	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	使用時期目安
夏型	可使時間	使用不可	使用不可	30分	20分	20分	7~9月
	歩行開放時間	—	—	24時間	20時間	16時間	
春秋型	可使時間	使用不可	30分	30分	20分	使用不可	4~6月 10月~11月
	歩行開放時間	—	24時間	20時間	16時間	—	
冬型	可使時間	30分	30分	20分	使用不可	使用不可	12月~3月
	歩行開放時間	24時間	20時間	16時間	—	—	

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高湿(85%以上)・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、充分注意して行ってください。
- 付着しづらい既存塗膜(不飽和ポリエステル、湿気硬化ウレタン、塩化ビニル、合成ゴム等)がありますので、事前に必ずご確認ください。
- 既存塗膜が下地と密着しているか、事前にご確認ください。密着していない場合は除去が必要です。

2. 塗装(施工)中の注意

- 下地が濡れている場合には、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装するようお願いいたします。
- 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- 二液性塗料の計量、混合撹拌は、はかりおよび電動撹拌機を用いて行ってください。(目検討・棒での撹拌は硬化不良になります。)
- 可使時間(ポットライフ)が短いので、ローラーだけで付け塗りすると、短時間で塗料が増粘し塗りづらくなります。主剤と硬化剤混合後は必ず塗装面に流しのべし、ローラーだけで塗り広げてください。
- 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分に撹拌し、均一にした後にはかりを用いて計量、混合してください。
- 主剤と硬化剤を混合したまま放置すると硬化が進行し発熱します。その際容器に熱すると火傷をする恐れがありますから、混合した塗料は出来るだけ早く使い切ってください。発熱が進みますと沸騰し蒸気が発生しますので、容器内に水を10cm位入れて、屋外に持ち出しフタをしないで固めてください。
- 有機溶剤を使用した塗料のため周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- 取扱い時には皮膚・粘膜・眼等に入らぬように、適切な保護具を着用ください。
- 溶剤での希釈、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 結露するような高湿度で施工(および養生)した場合、時間が経過しても使用状況により白化することがあります。

3. 塗装(施工)後の注意

- 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。
- ごく僅かですが溶剤を含んでおりますので、厚塗りすると(0.6kg/㎡以上)乾燥が遅れる場合があります。
- 塗装具の洗浄には合成シンナー No.6をご使用ください。

4. 塗装面別の注意

- 油面コンクリートは、下地の状態により処理方法が異なりますので、施工仕様書を参照し、フロアトップアクア油面プライマーまたは#500油面プライマー、油面強化コンクリート用プライマーを下塗りしてください。
- 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリッシャーサンダー等で完全に取り除いてください。
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)
- 風化したコンクリート面、粉っぽいコンクリート面には#800プライマーを2回塗りしてください。
- コンクリート面をドライバー等で引っかいても傷がつきにくく水が浸透しにくい強化コンクリートの場合やさらに油污れが付着している面では、下地処理の方法や下塗り材の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。

5. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300



事業所情報



製品情報

<https://www.atomix.co.jp>

検索

エポワン